

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期九十九里町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

千葉県山武郡九十九里町

3 地域再生計画の区域

千葉県山武郡九十九里町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は1997年の20,930人をピークに減少しており、14,639人（2020年国勢調査結果）まで落ち込んでいる。また、住民基本台帳によれば、2025年4月現在の人口は13,884人となっている。国立社会保障・人口問題研究所によると、2040年には10,002人と、2020年比で総人口が約68.3%となる見込みである。

年齢3区分別人口を見ると、年少人口（0～14歳）は、2010年で「1,941人」だが2020年には「1,216人」となり、10年間で「725人」減少している。生産年齢人口（15～64歳）は、2010年で「11,884人」だが2020年には「8,249人」となり、10年間で「3,635人」減少している。老年人口（65歳以上）は、2010年で「5,156人」だが、2020年には「6,096人」となり、10年間で「940人」増加している。今後、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。なお、2022年1月1日現在において、当町における20歳～40歳代の人口は4,040人と住民全体に占める割合は27.0%である。

人口減少の構造的な課題を分析すると、自然要因として合計特殊出生率は2019年には0.97となっており、全国平均と比べ低い傾向にあり、出生数と死亡数の推移をみると、出生数は緩やかに減少しているのに対し、死亡数は緩やかに増加している。そのため、自然動態は減少の度合いが徐々に大きくなっており、2020年千葉県毎月常住人口調査報告書（年報）によると225人の自然減となっている。

社会動態をみると、基本的には転出が転入を上回っているが、2010年及び2015

年のみ転入が転出を上回っている。2020 年には転入者 438 人が転出者 541 人を下回る社会減 103 人と転出超過であった。

このまま人口減少が進行すると、地域消費人口や労働人口の減少による地域経済の縮小と地域産業の衰退、後継者不足による町の基幹産業である農業の衰退と自然環境保全への悪影響、担税力の高い生産年齢人口の減少に伴う町税収入の減少とこれに伴う行政サービスの質の低下、地域コミュニティの縮小による共助機能低下等が懸念される。

これらの課題に対応するため、本計画において、次に掲げる基本目標の達成に向けて取り組み、町内企業の活性化や企業誘致による雇用拡大と、これによる町の将来を担う若者を中心とする人材確保、子育て世代の経済的な負担軽減、ワークライフバランスを安定させる環境づくりや「希望する子どもの数を持てる」子育て環境整備による少子化の流れの克服、「関係人口」の創出による地方移住者確保等により、将来的な人口減少の克服を目指す。

- ・基本目標 1 移住・定住の促進
- ・基本目標 2 九十九里ブランドの構築
- ・基本目標 3 イメージアップ

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	九十九里町に住み続けた いとする若年層(30代)の 割合	63.3%	69.6%	基本目標 1
ア	移住・Uターン(補助事業 を利用)の人数	8件	10件	基本目標 1
ア	年少人口(0~14歳)の割 合	6.5%	6.5%	基本目標 1

イ	「九十九里」というネームバリュー、ブランド力があるとする割合	28.4%	31.2%	基本目標 2
ウ	九十九里町に愛着やほこりを感じている割合	56.4%	62.0%	基本目標 3
ウ	九十九里町は愛着を育むのに熱心なまちだとする割合	24.7%	28.1%	基本目標 3

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

九十九里町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 移住・定住の促進事業

イ 九十九里ブランドの構築事業

ウ イメージアップ事業

② 事業の内容

ア 移住・定住の促進事業

移住・定住の支援体制の充実や就労・暮らしの支援、子育て世代への支援などの強化により、「住んでみたい」「住み続けたい」と思えるまちづくりを推進する事業。

【具体的な事業】

- ・移住定住推進事業
- ・漁業担い手育成事業
- ・妊娠・出産支援事業 等

イ 九十九里ブランドの構築事業

地域の食文化や町の魅力体験など、「九十九里ブランド」を構築することにより、九十九里町に訪れる人たちがまた来てみたいと思うまちづくりを推進する事業。

【具体的な事業】

- ・地産地消イベント推進事業
- ・食のまちづくり推進事業
- ・観光プロモーション強化事業 等

ウ イメージアップ事業

誰もが理解と共感を得ることのできる九十九里町のイメージを作ることにより、来訪者や関係人口等が「住んでみたい」「行ってみたい」と感じられる町のイメージをつくり、情報発信を推進する事業

【具体的な事業】

- ・町の魅力発信事業
- ・地域づくりの担い手育成事業
- ・こども未来ふぁんど事業 等

※なお、詳細は第5次九十九里町総合計画後期基本計画のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

2,050,000 千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度3月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに九十九里町公式ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2031年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2031年3月31日まで